

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 崇仁会
施設名	代沢みこころ保育園
報告者（役職）	高橋 純子（園長）
住所・連絡先	東京都世田谷区代沢 2-27-1
	☎ 03-6805-2936 E-mail daizawa-mikokoro@sw-sujinkai.jp

○タイトル（保育計画）

子どもたちが考え作る、手作りの園庭

○主な助成備品

砂場造設営一式、木のブランコ設営一式

1. 保育計画策定の目的

当園は、住宅街の一角にあるため、敷地内に園庭を設けることができず、法人の運営母体であるお寺の本堂の裏手の土地を園庭として定めました。当初は全く整備されておらず、木が生い茂る土地を重機で整備するところから始まり、すべり台や鉄棒を置き、ある程度園庭らしい整ったスペースを確保することができましたが、更に子どもたちがのびのびと遊べる場所を職員と子どもたちとで力を合わせて作ろうと、発展途上の園庭に、手作り砂場とブランコの設営を思いつきました。

2. 具体的な実施内容

砂場の土台となる敷地の穴掘りを職員と子どもたちとで始めた頃に今回の助成金の話を知りました。助成していただけることが決まってからは、整地等は専門の業者に委託しつつ、砂を入れる作業は、当時の年長組が中心となって子どもたちみんなで行い、念願かなって大きな砂場を完成することができました。

また、ブランコを設置することも検討していましたが、園庭の広さや安全性の面から、既存のブランコでは楽しみがないと考え、園庭にある大きな桜の木を利用してブランコができないかと思い、桜の木の枝に紐を吊るして木のブランコを完成させました。

3. その成果と評価

当園での砂遊びは、敷地内にある猫の額ほどの砂場でしかできませんでした。近隣住宅と密接した環境にある園なので、近隣の方々の迷惑とならないよう声を潜めながら静かに遊んでいました。園庭に砂場が完成してからは、のびのびと砂遊びをする子どもたちの元気な声が聞こえるようになりました。大きな砂場になったことで遊びがどんどん展開し、小さな砂場では使うことのなかった砂場用の玩具が必要になり、新しく仲間入りしたスコップや型抜き等を使って遊びこむ子どもたちの姿が見られます。

ブランコは、予想通り子どもたちに大人気の遊具となりました。普段公園等にある普通のブランコでしか遊んだことのない子どもたちだったので、見たこともない木のブランコに大喜び。連日ブランコの前には、順番待ちをする子どもたちの長い列ができました。

4. 今後の課題と展望

せっかく作った桜の木のブランコも、木の育ちによっては朽ちることもあります。ブランコの設置は自由自在。ロープ二本、椅子木板一つでどこでも運べ、どこにでも吊るせます。

当園2階の土間の梁にロープを吊るして室内ブランコも夢ではない。手作りの園庭から飛び出したブランコの活用が広がります。

代沢みこころ保育園 手作り砂場と木のブランコ



子どもたちが頑張って掘った穴を、業者さんが安全に遊べるよう整えてくれました。



大きな砂場に大喜びの子どもたち！
どんどんダイナミックな遊びに発展していきます。



園庭の大きな桜の木の枝に紐を吊るして木のブランコを設置しました。子どもたちに大人気で、連日ブランコの前には順番待ちの長行列ができています。



型抜きやスコップを使って、次々といろんな形を作っていく子どもたち。上から落ちてくる落ち葉を飾ってデコレーションケーキを作る子もいます。



木のブランコはどこでも移動可能！室内でもブランコが出来ると知り、子どもたちは大喜びです。